

■野辺事務局長

定刻 5 分前であるが、参加者がすべて揃ったので総会を始めさせていただくことを全体にアナウンス

■池田会長 挨拶

平成 30 年度の隠岐の取組が日本国内だけでなく世界でも高い評価を得ていること。

学校教育において子どもたちの隠岐に対する意識が向上していること、公民館活動と連携した学習の増加および地域住民の関心が高まっている事等、ジオパーク活動の成果があらわれている事について会員各位の協力に対しお礼を述べ、地域振興には隠岐に誇りを持つ人材の育成が不可欠と考えるので、今後も関係各所と連携を取りながら、ジオパークという手法により地域振興を進めていきたい旨を述べた。

■的地事務局長

本日の会員出席状況を確認。会員 48 名の内委任状含め 47 名の参加により総会成立。

本日の資料確認(事前送付資料および当日別紙資料)

(池田会長議長着任)

■池田議長

報告事項へ移行

平成 30 年度新規入会の 2 団体に自己紹介等の依頼。

■岡田清明 (緑のコンビナート推進協議会)

挨拶及び緑のコンビナート等の取り組みについて

■石橋敬久 (中国電力株式会社隠岐営業所)

挨拶及び隠岐ハイブリッドプロジェクトの取り組みについて

■池田議長

協議事項へ移行。

協議事項 (1) 平成 30 年度事業報告及び平成 30 年度決算見込みについて事務局説明依頼

■野辺事務局長

平成 30 年度事業報告について、「平成 30 年度隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会実施事業総括」より説明。

(資料 1 - 1)

(協議会事務局運営)

H30 年度より島前 3 町村からの派遣を 1 名とするのに伴い、事務局員を協議会職員(臨時職員)として採用。

H30 年度事務局体制について説明

(資料 1 - 1)

(GGN/JGN 関係運営)

H30 年度下記事業の実施によりさらに高い評価を受けていることについて説明

- ① アジア太平洋地域ユネスコ国内委員会担当者研修会を隠岐で開催 (5 ページに記載)
- ② ユネスコ世界ジオパーク離島地域ワーキンググループリーダー
- ③ タイ国でのユネスコジオパーク設立支援

(資料 1 - 1)

(推進事業)

中核・拠点施設の展示設計についての有識者検討会開催および来居港の拠点施設整備の技術支援の説明

(資料 1 - 1)

(部会運営事業)

ジオパーク活動の普及には部会員の育成(にない手の育成)が必要と考え、H30 年度は香港ユネスコ世界ジオパーク事務局長を招いた研修会の開催や、ワークショップを開催したが、単発的取り組みとなり具体的な効果を得ることができなかった。このことをふまえ、今後は、行政、観光協会、関係団体と連携し、一般住民にも部会に参画していただき、3 部会に取り組んでいくことについて説明。

(資料 1 - 1)

(人材育成事業)

公民館分館活動と連携したジオパーク学習会の開催やジオパークを活用した学校教育プログラムの実施、未就学児・小学生低学年を対象とした教材(紙芝居)の開発、中高生を対象とした英語キャンプの開催により隠岐に対する子供たちの意識が高まってきていることや隠岐高校のジオパーク研究の取組、島前島後の高校生交流事業についての説明を行った。

隠岐高校のジオパーク研究、ジオパーク探究について、隠岐高校西村校長より紹介をいただいた。

(資料 1 - 1)

(情報発信事業)

神社マップの反響、YouTube を活用した動画配信およびデジタルマーケティング、及び音声ガイド(日本語及び外国語)の貸出しについての説明

(資料 1 - 1)

(企画・広報宣伝事業)

雑誌掲載による隠岐の魅力紹介、島外で開催される既存イベントブース出展、島外における隠岐ジオパーク講座の開催についての説明

(資料1-1)

(調査研究事業)

解説看板および誘導看板の整備について検討を行うため、関連施設の位置図、カルテの作成についての説明

研究活動助成、研究論文募集についての説明。

平成30年度収入支出決算見込みについての説明。(資料2-1、2-2)

■池田議長

質問有無の確認

■斎藤一志(島後とぎの会)

人材育成事業の県人会、隠岐人会等へのジオパーク学習会を実施するとのことだが、新年度の予算に組み込まれていないのではないかと。

■野辺事務局長

事業としてではなく、事務局の旅費として組み込んでいる。

学習会の会場等の町村が負担し、我々講師が会場に行き、時間を決めて説明する方法。

■斎藤一志(島後とぎの会)

この取組は、過去にジオパーク推進協議会が主催ではないが行っていると思うが、成果がわかれば教えていただきたい。

■野辺事務局長

これまでの県人会、隠岐人会には参加しておらず、前身の風待ち海道倶楽部では実施したことがある。今後は、ジオパークとしても積極的に関わっていきたい。

■斎藤一志(島後とぎの会)

誘客促進ということだが、島根県人会の平均年齢は高い。出席しても効果があるのか。

誘客するためには、県人会等の方々に資金を支援してもらい事業を行い、誘客してもらう方が良いのではないかと。

■池田議長

H30年度の取組について頂いたご意見を検討するように事務局へ指示。

協議事項(1)平成30年度事業報告及び平成30年度決算見込みについて承認を求める

(承認)

続いて協議事項(2)平成31年度事業計画(案)及び平成31年度当初予算(案)について事務局説明依頼

■野辺事務局長

平成31年度事業計画(案)についての説明

(資料3)

(協議会事務局運営)

協議会の法人化についておよび事務局体制、協議会職員採用試験の実施についての説明
詳細については資料3を参照

(資料3)

(GGN/JGN 関係運営)

GGN への貢献事業についての説明

- ・タイで開催されるワークショップに講師を派遣予定。文科省の ODA 事業に申請中。
- ・香港ユネスコ世界ジオパークで開催されるワークショップに職員を派遣予定。
- ・平成31年度から香港の中学校を2校来島予定
- ・第6回アジア太平洋ジオパークネットワーク国際会議への参加

JGN への貢献事業についての説明

- ・池田会長が JGC 委員として認定に関わる(任期：平成30年、31年)
- ・日本ジオパークネットワーク関係事業への参加

(資料3)

(推進事業)

- ・拠点施設整備事業についての説明

引き続き、中核施設における展示および調査研究に伴う有識者検討会を実施

- ・部会運営事業についての説明

人材育成部会、調査・研究部会、企画広報部会の開催による意見交換できるように研修会を積極的に実施

- ・人材育成事業についての説明

ジオ学習会の実施：年90回、島前の回数を増やしていきたい

英語キャンプの実施：小学生を対象とした英語体験を開催予定

島前島後のガイド交流の実施：インバウンド等への対策も含める など

- ・情報発信事業についての説明

リーフレット、マップでの発信と映像による発信を行うデジタルマーケティングの実施
紙芝居の作成：小学校低学年および未就学児を対象とした紙芝居を作成（人の営み編） など

・企画・広報宣伝事業についての説明

長編映像作成：平成 31 年度は「人の営み」を作成

島外での PR 活動

新ツアー造成事業の実施 など

・調査研究事業についての説明

調査研究計画書を策定していく。

研究活動助成について

平成 31 年度収入支出予算（案）についての説明（資料 4）

■池田議長

質問有無の確認

■吉田雅紀（島根県議会）

研究活動助成の取組一覧にしたものを後日で良いので内容を教えていただきたい。

■野辺事務局長

主にオキサシヨウオについて、隠岐片麻岩のでき方について、植物（トウテイラン）について等幅広い分野で行っている。

資料については後日お渡しする。

■斎藤一志（島後とぎの会）

デジタルマーケティング事業についての予算はいくらか。

■野辺事務局長

マーケティングについては、香港、台湾で 30 万。世界的には 400 万～700 万
動画配信を二つ行う。

■斎藤一志（島後とぎの会）

映像を作る以外にマーケティングだけでそれだけの予算がかかるということか。

予算はどっちも入っているのか。予算額が大きいのが、マーケティングしたデータ結果をどのようにして事業に反映していくのか。

■野辺事務局長

デジタルマーケティングは全国的に実施していて、他の地域の誘客実績の中には 1 割増の報告もある。

香港、台湾についてはユーチューバーを活用し、固定客（フォロワー）をターゲットとして行うので、30万で出来るが、世界に発信する場合は、どの地域の人々が視ているかがわかるようになるので、それを踏まえて事業に反映していきたい。

■池田議長

効果測定 30 万の話については予算で分かっているが、世界の 400 万はどこに記載されているのか。

■野辺事務局長

資料 23 ページにある「プロモーションビデオ作成映像配信 500 万」が世界に向けたものに当てはまる。

■斎藤一志（島後とぎの会）

今の説明だと、見た方に直接訴えかけるということだが、マーケティングである程度の個人情報を得ることが可能なのか。

■野辺事務局長

得ることができる。

■斎藤一志（島後とぎの会）

わかりましたが、見ているからといって、来るとでは別の話のため、工夫が必要だと思う。

もう一点、紙芝居について、デジタル化して誰でも使えるようにしてほしい

■野辺事務局長

紙芝居について HP にてデジタル化しているので、つかっていただきたい。

■池田議長

協議事項(2)平成 31 年度事業計画(案)及び平成 31 年度当初予算(案)について承認を求める

(承認)

その他事項へ移行

平成 31 年度法人化スケジュールについて事務局説明を依頼

■的地事務局次長

(資料 5)

法人化および今後のスケジュールについて説明

■池田議長

質問有無の確認

■吉田雅紀（県議会）

理事会はどうなるのか。

■的地事務局次長

理事会も含めて新組織で検討する。

■池田議長

事務局その他にあるか。

■野辺事務局長

ありません。

■池田議長

最後に、山陰合同銀行支店長へ自己紹介を依頼。

■上野 康（山陰合同銀行西郷支店）

挨拶

■池田議長

議事終了

■野辺事務局長

総会閉会の挨拶